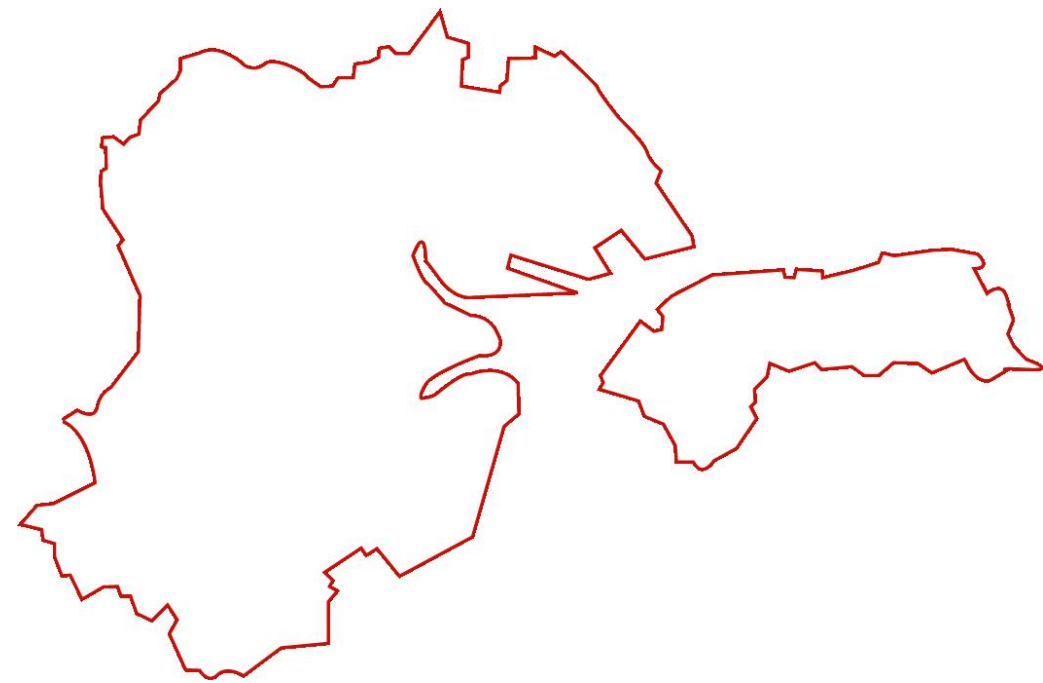


# 令和3年度 南西地域部会 活動報告



支援センター・コンドル  
前田 茂男

R4.6.10(金)

岡山市障害者自立支援協議会 全大会

## 南西地域部会の開催頻度と事業所数

○開催：毎月（第2・第4金曜日）  
合計24回開催(オンライン6回・研修1回含む)

○参加事業所：岡山市障害者基幹相談支援センター  
南区相談支援事業所 12ヶ所  
北区2カ所・東区1カ所・中区1カ所  
早島地区 1ヶ所  
玉野地区 1ヶ所  
法律事務所等 2ヶ所  
計 21事業所

○場所：西ふれあいセンター等

# 南西地域部会が目指すもの

連携

- ・ サービス管理責任者との定期的活動
- ・ 情報共有、サービスの質向上

地域移行

- ・ 地域移行支援の推進
- ・ 多職種連携、当事者活動

緊急対応

- ・ 定例的な活動の般化
- ・ 事例の積み上げ、対応の流れ

南西地域部会

～地域課題抽出・事例検討・事業所レビュー(協議会報告)

# 令和3年度活動報告

## ① 地域課題の抽出及び事業所レビュー・・・第2金曜日

GWで相談支援業務の振り返りを共有。日常の疑問、困りごと、支給決定に関する要望、その他必要な情報や知識を共有し、各専門員の気づきの中から課題を抽出。また、共有した事例を基にストレングスモデルのグループスーパービジョンに繋げる。



(地域課題: point)

・4～5名のグループに機能強化事業所がFTとして進行。  
アイスブレイク的な要素を取り入れ、各専門員が抱える業務内での気づきや情報等を共有した後に全体で共有。

(事業所レビュー: point)

メンバーの各事例の困り感のある事例をグループ内共有をおこない、そこで解決できるものと検討が必要なケースに分類。全体共有後、緊急度の高い事例や専門員の興味関心ごとに合わせてGSVに繋げる。

# 令和3年度活動報告

## ② グループスーパービジョン・・・第4金曜日

現任者研修の事例検討スタイルを踏襲。グループワークから抽出された緊急的な事案に対し事例検討をおこない、専門員の困り感の軽減を目指す。



## ③ 部会報告、情報共有・・・毎開催時

各専門部会の活動報告や情報提供、新規事業所紹介など、最新の情報を共有をする。令和3年度からは、よりタイムリーに情報を得るために部会開催毎の報告に変更した。

## ④ 地域移行支援事業への取り組み・・・月1回

「南区から地域移行を支援に関するシステムを構築する」を目標に、こころの健康センターと基幹相談、相談支援事業所で定例会を開催。今年度で5年目であるがコロナ情勢により医療機関の参加に制限がかかったが、一方で新たに法律事務所が定例会に参画。各地域での課題や今後の取り組みに必要な意見交換のためWG合同会議への参加。

# コロナ禍でも**取り組めたこと**・**出来なかったこと**

## ① **定例会**の継続・**事業所支援**活動及び**ミニ研修会**

アウトリーチによる相談支援事業所への支援を機能強化事業所が意識し限定的ではあるが実施。現場の声や事業所レビューから拾い上げた疑問に対し、ミニ研修会の開催の材料を抽出。R4年度に専門員のスキルアップと負担軽減を図る研修に繋げたい。



## ② **サビ管との連携強化**

(R3、1、14サビ管・相談支援専門員合同意見交換会)

参加：54名（34事業所）

場所：ウェルポートなださき

内容：事業所間情報共有（事業所の現状）、事業所PR（強みに関する100文字要約）、全体共有



## ③ **地域生活支援拠点**の有効的な活用（**南西地域生活支援拠点運営連絡会**）

緊急対応、体験利用、地域づくり、人材育成など総合的視点から複合課題の取り組み方を模索。面的整備を充実させ、誰もが困らない地域づくりを目指す。